学校番号	3010

令和8年度　　工業　　科

教科	工業	科目	造形基礎	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物を設計するにあたって必要な基礎造形力を養うため、平面構成・立体構成・デッサンに取組む。感性を磨くために創意工夫を行いながら取り組むこと。修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とする。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
様々な作品の完成度をあげられる方法や知識・技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】
各課題をとおして表現する力を養い、合評をとおして様々な思考を行い、表現する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
課題の表現の特徴を理解し、作品を取り組む意欲と関心をもつ。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a：知識・技術	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	基礎造形作品などの表現の工夫やその構成理論などを理解し、そのよさや美しさが建築に応用されていることを知る。また創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	建築物における意匠表現や構造美に関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	パース表現	単純な基礎図形を用いた空間構成３面図と立体図の作成立体図着彩とプレゼンボード作成構成イメージからの建築設計への適用	a:立体の２次元表現とそれ建築への適用の基礎的・基本な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用・応用している。 b:立体の２次元表現とその建築への適用に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に技術者として適切に判断・表現する創造的な能力を身に付けている。 c:立体の２次元表現とそれの建築への適用について関心を持ち、その技術の習得をめざし主体的に取り組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況
2・3	平面	線造形の平面構成 面造形の平面構成 色彩	a.感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 b.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 c.平面的な表現を行う際、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況
	立体	紙を使った立体造形 ビルダーカードを用いた立体造形 スチレンボード用いた立体造形 竹ひごを用いた立体造形	a.感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 b.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 c.建築物における意匠表現に関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況
	デッサン	形のとり方 構図 質感	a.表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。 b.創造的な表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて、表現方法を工夫している。 c.創造的な表現をするために関心を持ち、その表現力や感性を養うために意欲的に取り組んでいる。	学習状況の観察	課題の成果状況	課題の進捗・提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度